

介護施設等防災リーダー養成研修実施要綱

1. 目的

平成 28 年 8 月台風第 10 号、令和元年 10 月台風第 19 号など自然災害により被害を受ける介護施設が多くみられている。介護施設の利用者は自力避難が困難な方が多く利用しているため、施設の職員は災害発生時において、現場で避難のタイミング等を判断することが求められる。しかし、その判断を行うための基礎知識や防災スキルが十分でなく、利用者の安全を確保するなどの対策を講じることが難しいことが明らかとなった。

このような現状を踏まえ、介護施設等職員に対して、自力避難が困難な利用者の安全を確保するなどの災害に備えた十分な対策を講じるための知識とスキルを身に付け、防災対策において中心的な役割を担うことができる防災リーダーの養成を図る。

2. 実施主体

秋田県

委託先：日本赤十字秋田看護大学

3. 実施体制

研修会開催責任者：	原 玲子	学長
研修会統括：	小野 満	事務局
企画・運営責任者：	佐々木 久美子	看護学部
ネット環境責任者：	鎌田 隆一	事務局
企画・運営担当者：	石母田 由美子、萩原 智代、佐藤 美恵子	看護学部
	湊 直司	短期大学
	渡部 忠保、佐々木 里菜	事務局

4. 実施計画

研修はリーダー養成研修(初回研修)と本研修の受講修了者向けのフォローアップ研修の2段階構成で実施し、研修成果のブラッシュアップと研修内容の向上を図る。

1) リーダー養成研修

(1) 対象：介護福祉施設の職員で、防災対策において中心的な役割を担う方、又は防災に興味・関心のある方 100名程度

(2) 開催場所・日程・実施形態：

	開催場所	開催日時	実施形態
開講式・ 知識編	県中央会場： 日本赤十字秋田看護大学	9月19日(火) 9:20~17:00	対面・ Zoom
演習編	県中央会場： 日本赤十字秋田看護大学	10月30日(月) 9:30~17:00	対面
	県北会場：秋田県北部シルバーエリア	11月3日(金) 9:30~17:00	対面
	県南会場：横手市ふれあいセンター	11月12日(日) 9:30~17:00	対面

報告会・ 修了式	県中央会場： 日本赤十字秋田看護大学	12月11日（月）13:00～17:00	対面・ Zoom
-------------	-----------------------	----------------------	-------------

※ 「知識編」は県中央会場（基本的に対面方式）で開催するが、業務の都合により対面参加が困難な場合は Zoom での参加も可とする（ハイブリット形式）。

※ 「演習編」は県中央会場、県北会場、県南会場に分散し対面で行う。状況により Zoom も対応可とする。

※ 「報告会」は県中央会場で開催する。移動不可能な場合は Zoom での参加も可とする。

2) フォローアップ研修

(1) 対象：令和4年度本研修修了者

(2) 開催場所：日本赤十字秋田看護大学

(3) 日時：令和5年8月19日（土）9時～16時30分

(4) 実施形態：対面とする。移動が不可能な場合は Zoom での参加も可とする。

5. 開催内容（研修プログラム）

1) リーダー養成研修

<知識編>

■ 到達目標

- (1) 災害及び防災・減災に関する基礎知識を理解する。
- (2) 自治体や気象庁が発表する各種情報について理解する。
- (3) 災害時要配慮者の特徴と介護職員としての役割について理解する。
- (4) 災害時要援護者の支援体制について理解し、支援体制のあり方を理解する。
- (5) 自然災害に備えた事業継続計画（BCP）について理解する。

■ プログラム：

時間	内容及び講師	実施形態
9:20～	開講式 オリエンテーション	
9:30～ 10:30	1. 災害に関する基礎知識 講師：日本赤十字秋田看護大学 教授 石母田 由美子	講義
10:40～ 12:10	2. 介護施設等における防災・減災、避難対策のあり方 講師：日本赤十字秋田看護大学 講師 佐藤 美恵子	講義
	休憩	
13:00～ 14:00	3. 自治体や気象庁が発表する各種情報の読み方 講師：秋田県総務部総合防災課防災監 三上 勝紀 氏	講義
14:10～ 15:00	4. 介護施設の設置地域の特徴を踏まえたリスク診断 — 施設設置地域の特徴と危険度を知る 講師：日本赤十字秋田看護大学 准教授 萩原 智代	講義
	休憩	
15:10～ 16:00	5. 災害に備えた事業継続計画（BCP）の基礎知識 講師：日本赤十字秋田看護大学 特任教授 佐々木 久美子	講義

16:00～ 16:30	6. 次回演習に向けての準備について 講師：日本赤十字秋田看護大学 特任教授 佐々木久美子	
-----------------	--	--

<演習編>

■ 到達目標（演習編及び報告会）

- (1) 災害に備えた事業継続計画（BCP）が作成できる。
(2) 施設が設置されている地域特性とその地域の地区組織、関係団体、関係職種、行政の役割・機能を理解し連携・協働のあり方について理解する。

■ プログラム：3会場において同一の内容を対面で実施

時間	内容及び講師	実施形態
9:30～ 10:30	1. BCPの意義と策定のポイント 講師：社会福祉法人東北福祉会せんだんの里総合施設長 本部事務局長 野田 毅 氏	講義
	休憩	
10:40～ 12:00	2. 介護施設等の設置地域の特徴とリスク診断（演習1） —BCP策定対象介護施設の地域診断(グループワーク)	演習
	休憩	
13:00～ 16:30	3. BCPの意義と策定のポイント（演習2） ～災害に備えた事業継続計画の策定～ —厚生労働省の策定ポイントを基に作成する(個人ワーク)	演習
16:30～ 17:00	4. 策定上の疑問点等質疑応答	演習

※演習1、演習2のファシリテーター：野田、(有)ルーク代表加藤健悦、湊、石母田、萩原、佐藤、
フォローアップ研修受講者：各会場1名程度を募る

※演習の全体進行：日本赤十字秋田看護大学 佐々木久美子

<報告会>

時間	内容及び講師	実施形態
13:00～ 15:50	1. 事業継続計画（BCP）策定報告会 ※各自作成したBCPの発表及び意見交換を行う。 ①BCP作成時の取り組み内容、配慮したこと、苦労したことなど ②フォローアップ研修会までの取り組みについて	演習 (対面) 状況により Zoomでも 対応する
16:00～ 16:30	2. 質疑応答・講評 ファシリテーター（講評者）：野田、加藤、湊、萩原、佐藤 フォローアップ研修受講者で演習編に参加した3名 全体進行：日本赤十字秋田看護大学 佐々木久美子	
16:40～ 17:00	閉講式 修了証書授与 挨拶 日本赤十字秋田看護大学学長 原 玲子	

2) フォローアップ研修

■ 到達目標

1. 災害に備えた事業継続計画（BCP）を作成するにあたっての疑問点について解決できる。
2. BCPを運用するにあたり、施設が設置されている地域特性とその地域の地区組織、関係団体、関係職種等との連携・協働の必要性を理解する。

■ プログラム：

時間	内容及び講師	実施形態
9:00	オリエンテーション（ねらいと日程説明）	
9:10～ 14:30	1. 各施設の進捗状況報告会 – 作成した BCP の紹介と意見交換 ※参加者が作成した施設の BCP についての発表と意見交換を行う。 ※意見交換では作成するにあたっての取り組み内容、配慮したこと、苦労したことなどを話し疑問点を解決できるようにする。 ※作成途中の場合でも作成したところまで発表し、完成に向けてメンバーから助言等を得る。 ※発表形態は、参加人数を鑑み全体で実施するか、グループ単位で実施するか検討する。 ファシリテーター：野田、加藤、湊、石母田、萩原、佐藤 全体進行：日本赤十字秋田看護大学 佐々木久美子	報告会
(12:10～12:50 休憩)		
14:30～ 15:30	2. BCP 作成後の施設内での取り組み方 講師：社会福祉法人東北福祉会せんだんの里総合施設長 本部事務局長 野田 毅 氏	講義
15:30～ 16:30	3. 受講生同士の仲間づくり ※ここでは、施設所在地の内外のつながりを持ち相談できる体制をつくり、研修会後も相互に連携が図れるような関係性を築くこと場とする。 ※令和 5 年度リーダー研修会のファシリテーターを募る。 全体進行：日本赤十字秋田看護大学 佐々木久美子	GW

6. 周知方法

- 以下の団体の協力を得て周知する。
秋田市認知症グループホーム連絡会ケアパートナーズ
秋田市社会福祉協議会
秋田県社会福祉協議会他
- 日本赤十字秋田看護大学ホームページに掲載する。

7. 事業評価

各研修会終了時に受講者を対象にアンケートを実施する。また、各研修終了後に事業全体の振り返りを行う。さらに、すべての研修会終了後にアンケート結果、各界の振り返りを基に事業全体の見直しを行い、次年度の計画に反映させる。